

計画の名称	清水町公共下水道整備事業重点計画														
計画の期間	令和05年度 ～ 令和08年度（4年間）											重点配分対象の該当	○		
交付対象	清水町														
計画の目標	清水町における公共下水道の普及を促進し、公共水域の保全を図る。														
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		2,310	A	2,310	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初	R6末	R8末
1	下水道の人口普及率を76%（R5年度当初）から88%（R8年度末）まで増加する。 清水町の行政人口に対する下水道の処理人口の割合。 下水道人口普及率 = （下水道の処理人口(人)） / （清水町の行政人口(人)）	76%	82%	88%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	清水町	直接	清水町	管渠（ 汚水）	新設	狩野川西部処理区管渠整備（未普及解消）	下水道管φ200mm A=27.0ha	清水町	■	■	■	■		625		-
	A07-002	下水道	一般	清水町	直接	清水町	管渠（ 汚水）	新設	狩野川左岸処理区管渠整備（未普及解消）	下水道管φ200mm A=46.0ha	清水町	■	■	■	■		1,568		-
	A07-003	下水道	一般	清水町	直接	清水町	管渠（ 汚水）	新設	狩野川西部処理区全体計画策定（変更）	全体計画策定	清水町			■	■		10		-
	A07-004	下水道	一般	清水町	直接	清水町	管渠（ 汚水）	新設	狩野川左岸処理区全体計画策定（変更）	全体計画策定	清水町			■	■		10		-
A07-005	下水道	一般	清水町	直接	清水町	管渠（ 汚水）	新設	狩野川左岸処理区事業計画策定（変更）	事業計画策定	清水町	■					12		-	
											小計						2,225		
水道・下水道事業	A07-006	下水道	一般	清水町	直接	清水町	ポンプ 場	新設	徳倉中継ポンプ場ポンプ増設	汚水ポンプ N=1基設置	清水町			■	■		85		-

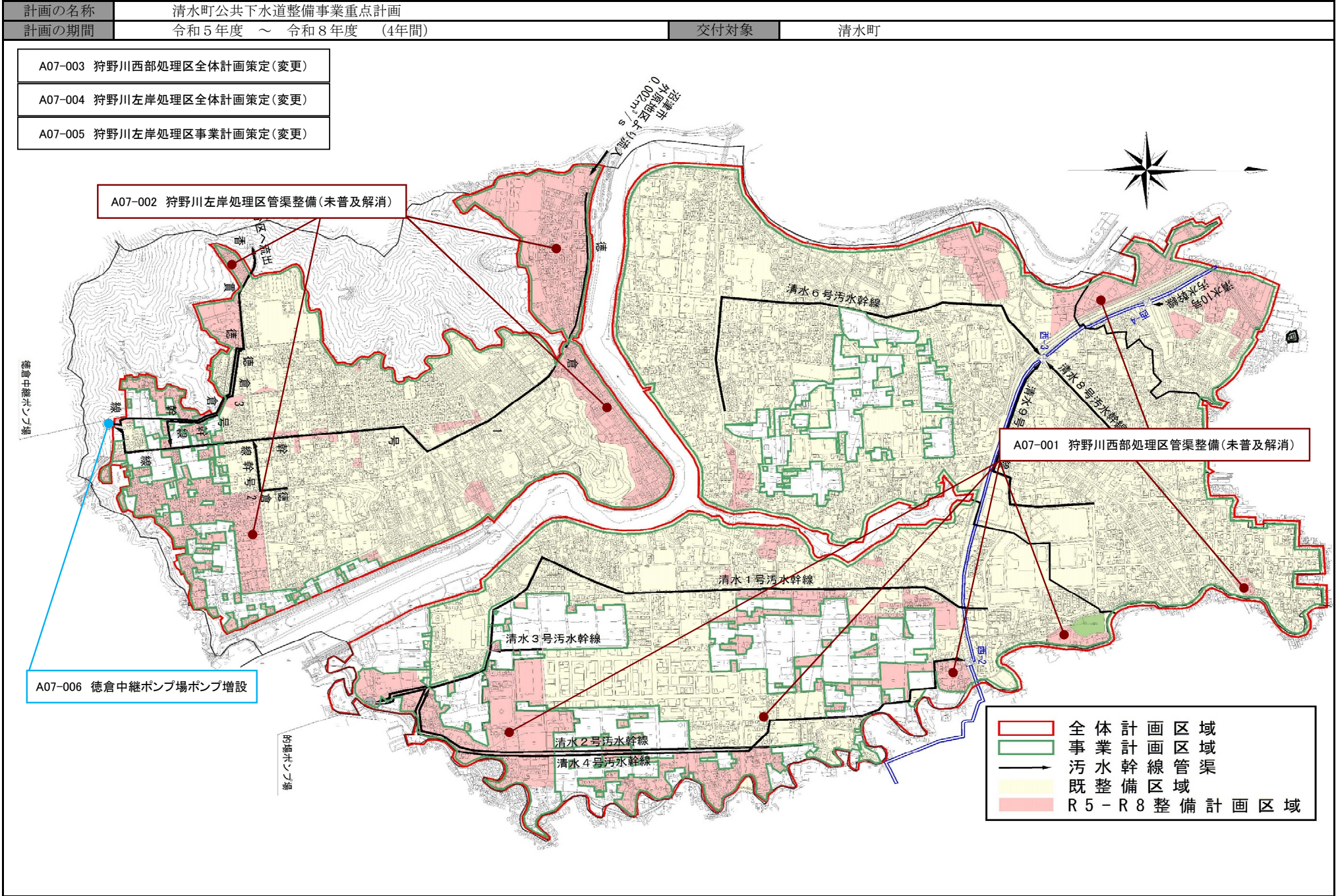
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											小計						85		
											合計						2,310		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	252				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	252				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	195				
翌年度繰越額 (f)	57				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)



事前評価チェックシート

計画の名称： 清水町公共下水道整備事業重点計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 3) 目標及び事業内容と事業区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○